



☺ 赤ちゃんの日 ☺  
 ・1歳未満の赤ちゃんと保護者と初妊婦さんの利用ができる日です。  
 9:00～14:00の開所  
 ♡ うさぎちゃんの日 ♡  
 ・発達に心配のあるお子さんと保護者が遊べる日です。保護者のみの利用もできます。9:00～14:00の開所

月	火	水	木	金
・★印は予約が必要な講座です。				1 自由開放 こいのぼりで遊ぼう
4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7 自由開放 ランチデー	8 自由開放 ランチデー
11 ★リズム遊び	12 赤ちゃんの日 ★離乳食講座	13 自由開放 12時までの開所 ※PM 育児相談(予約)	14 自由開放 防災訓練	15 自由開放
18 自由開放	19 赤ちゃんの日	20 自由開放	21 うさぎちゃんの日	22 ★たまちゃんとお散歩
25 ★作って遊ぼう 12時までの開所 (4/20～予約)	26 赤ちゃんの日	27 自由開放	28 うさぎちゃんの日 ランチデー	29 自由開放

### リズム遊び

5月11日(月)10:00～  
 予約開始 4月15日(水)  
 講師 佐藤先生・平尾先生

ピアノの音と歌声に合わせて心も体もリズムに乗って、いろいろな楽器にも触れたりして楽しめます。親子で笑顔あふれるひと時です。 持ち物 水筒・タオル

### ランチデー

5月7日・8日(木)  
 5月28日(木)うさぎちゃんの日

時間…11:15～12:30 までの間  
 場所…遊戯室、遊戯室前のテラス

持ち物…弁当、敷物、水筒(お茶が麦茶)

◆お弁当の交換、お菓子の持参はご遠慮ください。

◆ごみの持ち帰りをお願いいたします。

◆開所は 9:00～自由開放だけにいらしても大丈夫です。

### 赤ちゃんの日・離乳食講座

5月12日(火)10:00～  
 予約開始 4月14日(火)  
 講師 中西香織先生

離乳食について、心配や悩みごとに寄り添ったお話で、離乳食の見本も見せて下さいます。初期、中期、後期全般のお話です。講座終了後は個別相談もできます

### たまちゃんとお散歩

5月22日(金)10:00～  
 予約開始 4月20日(月)  
 講師 佐藤珠子先生

自然遊びの達人、「たまちゃん」と一緒にお散歩です。新緑の匂い、美しく咲く花、小さな昆虫たちと一緒に見つけましょう。

持ち物 水筒・タオル・歩きやすい靴



くらみ子育て支援事業所

# 令和8年 5月号 パンダひろば通信

住所: 〒436-0341 掛川市倉真 3802-2  
TEL/FAX 0537-28-0546  
HP <http://pandahiroba.link/>

パンダひろばのInstagram  
子育て講座や畑の野菜作りもお知らせします  
フォローしてね⇒⇒



@PANDAHIROBA

♪ やねより高い こいのぼり 大きいまごいはお父さん  
小さいひごいは子どもたち おもしろそうに およいでる ♪

大空に向かってはためく「こいのぼり」の季節です。外で泳ぐこいのぼりが珍しい今日この頃ですが、お子さんの健やかな成長を願う気持ちはいつの時代も変わりません。

大人も子どもも自らの力を発揮できる自然豊かなパンダひろばで、遊びや体験を通して次世代を生きていく力を育んで行きましょう。喜びも楽しみも、悔しさも悲しみも、一人一人の大事な感情。感情を表現しながら、風になびくこいのぼりのようにしなやかで力強い心と体作りができますように。

## 🐼 パンダひろばのご利用について 🐼

★自由開放 (9:00~14:00)      ★赤ちゃんの日(火) (9:00~14:00)      ★うさぎちゃんの日(月 2 回程度) (9:00~14:00)      ★育児相談 (随時)

- ・兄弟姉妹や双子のいる場合など車の乗り降りの大変な方はお手伝いをいたします
- ・戸外での活動が充実しています。親子で活動のしやすい服装と靴でいらしてください
- ・ランチデーはお弁当を持参できます。遊戯室にて11:15~12:30がランチタイムです



## 子どもにとって会話は一番のプレゼント

赤ちゃんは、言葉は話せなくてもコミュニケーションはできます。ほほえみかけるとほほえみを返し、声をかけると「アーアー」とそれに答える。このような、会話が、運動と社会性と知性の基盤となります。人の発達、コミュニケーションから始まるのです。

パンダひろばでは、心と体と知性の土台をつくる乳幼児期に、最も効果的な会話を大切に、月齢に合わせてママたちとできることを一緒に考えて行きます。

パンダひろばで感じる自然の中で「今日は暖かいね。」「お花が咲いてるね。」「鳥が鳴いてるね。」などと目に見えるもの、耳に聞こえる音を言葉であらわして話しかけ、お子さんの見せる反応や返事に「うれしいね」「たのしいね」などとさらに言葉を重ねて『会話』を楽しんで行きましょう。子どもにとって会話は一番のプレゼントになるはずです。